



雲をモチーフに制作したタイルモザイク作品です。浮雲を連想できるようにガラスと七宝で雲のふわりとした様子を表現しました。



日本的な文様をテーマに作品制作をしておりますが、今回は雲と格子紋モチーフを選びました。

理由には『雲』は絶えず形を変え自由に空に漂っています。しかし、自然環境に大きく左右され風に流されたり雨雲になったり時には嵐も呼ぶ存在。人生の儚さと憂鬱さにも似ています。浮雲にはそんな時として刃を向く自然の驚異を日本人独特の感性と風情を表しているようで、どこかこの『浮雲』というワードが、「ありのままに生きる」、「なるようになる」、「無理はしない」、人の生き方にも例えられるように感じます。一昨年から製作アイデアを温めていましたが、雲が今回の宝船展のテーマになっているとは、とても偶然でどこかこの作品との縁を感じました。今後も日本古来の伝統文様をテーマに制作していきたいと思います。ありがとうございました。

題 名： 連子格子と浮き雲
TITLE：

氏 名： 山口 素子
NAME：